

会報 SHINSHIYOU

神私幼

平成25年6月1日
第184号
(昭和29年7月10日創刊)

発行：公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 渡邊 眞一
 編集人：神私幼総務部(広報室)
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
 TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



平成25年度事業予定表

黒字→県連合会行事
 赤字→全日私幼連
 緑字→県等行事

(予定表は5月24日現在確定のものを掲載)

4月 April

- 2(火) 第1回正副会長部室長会
- 4(木) 第1回協会長会
第1回運営委員会
- 12(金) 第1回広報委員会
- 18(木) 第3回子ども子育て新制度対策研究委員会
- 22(月) 第1回研修事業部・研究部 部会
- 24(水) 全日私幼連 常任理事会

5月 May

- 1(水) 関東地区会・神奈川地区会
団体長会・監査会・理事会
- 2(木) 監事監査
- 8(水) 全日私幼連 理事会
- 9(木) 第1回経営管理部
- 10(金) 全県大会会場下見会
第2回正副会長部室長会
第2回運営委員会
第1回理事会
- 15(水) 新規採用教員研修会(私学単独)
オープン講座(小田原)
- 16(木) 第1回統合保育基礎講座
- 20(月) 第4回子ども子育て新制度対策研究委員会
- 21(火) 第2回広報委員会
第2回研修事業部・研究部 部会
- 22(水) 全日私幼連 総会
- 24(金) 平成25年度通常総会
- 29(水) オープン講座(鎌倉)

6月 June

- 6(木) 新規採用教員研修会(公私合同)
- 7(金) 第3回運営委員会
- 10(月) 第3回研修事業部・研究部 部会
- 13(木) 第2回経営管理部
- 18(火) 父母連委員総会
- 19(水) 新規採用教員研修会(私学単独)
- 26(水) オープン講座(藤沢)
- 27(木) 第3回経営管理部
第2回統合保育基礎講座
- 28(金) 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会

7月 July

- 2(火) 全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会
- 3(水) 第4回研修事業部・研究部 部会
- 5(金) 第4回運営委員会
- 6(土) 就職相談会
- 11(木) 園長等運営管理協議会
- 23・24(火・水) 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会

8月 August

- 5・6(月・火) 免許状更新講習必修領域
新規採用教員研修会(私学単独)
- 8・9(木・金) 第28回関東地区教員研修群馬大会
- 19(月) 第5回運営委員会
- 21(水) 幼稚園教育課程研修講座
- 23・24(金・土) 幼児教育実践学会
幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会
- 26(月) 第53回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会

9月 September

- 10(火) 第6回運営委員会
- 13(金) 第5回研修事業部・研究部 部会
- 17(火) 父母連常任委員会
- 19(木) 第3回統合保育基礎講座

10月 October

- 17(木) 新規採用教員研修会(公私合同)
- 21・22(月・火) 全国設置者・園長研修会(北海道)
- 22(火) 第6回研修事業部・研究部 部会
- 31(木) 幼・保合同研修講座
- 未定 父母連常任委員会

11月 November

- 5(火) 父母連研修大会(パシフィコ横浜)
- 6(水) 第7回研修事業部・研究部 部会
- 7・8(木・金) 関東地区代表者協議会(埼玉)
- 11(月) 第7回運営委員会
- 14(木) 第4回統合保育基礎講座
- 29(金) 幼・保・小連携研修講座

12月 December

- 3(火) 父母連常任委員会
- 4(水) 第8回運営委員会
- 9・10(月・火) 第8回研修事業部・研究部 部会
教育課程中央協議会

1月 January

- 11(土) 連続研修会 園内研修
- 15(水) 第9回研修事業部・研究部 部会
- 16(木) 第9回運営委員会
- 18(土) 連続研修会 園内研修
- 22(水) 公・私立幼稚園合同研修講座
- 29(水) 川崎地区教育研修大会

2月 February

- 1(土) 横浜地区教育研修大会
- 6(木) 第10回運営委員会
- 17(月) 第10回研修事業部・研究部 部会
- 18(火) 父母連常任委員会

3月 March

- 3(月) 第11回研修事業部・研究部 部会
- 12(水) 第11回運営委員会
第2回理事会

INDEX

会長挨拶 2-3
公益法人はじめての一步!
リニューアルした神私幼
 ●幼稚園連合会会長 渡邊 眞一

就任にあたって
 ●神奈川県県民局長 松森 繁

平成25年度役員名簿 4-5
今年度の活動方針
 総務部——安西 透
 振興部——武藤 保之
 経営管理部——山本 安雄
 総務部財務室——渡井 和佳
 総務部広報室——川崎 永

研修事業部・研究部の
 今年度の活動方針
 研修事業部——岩本 勉
 研究部——亀ヶ谷忠宏

Pride of KANAGAWA
 教育相談事業の案内

研修会報告 8
 事務局からのお知らせ

会長挨拶

公益法人はじめての一步！ リニューアルした 神私幼



県連合会 会長
渡邊 眞一

平成二十五年度に入りました。連合会は四月一日から新たな組織（公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会）に生まれかわりました。まずもって設置者・園長先生方へご報告を申しあげ、更なるご理解とご協力を賜わりたく存じます。

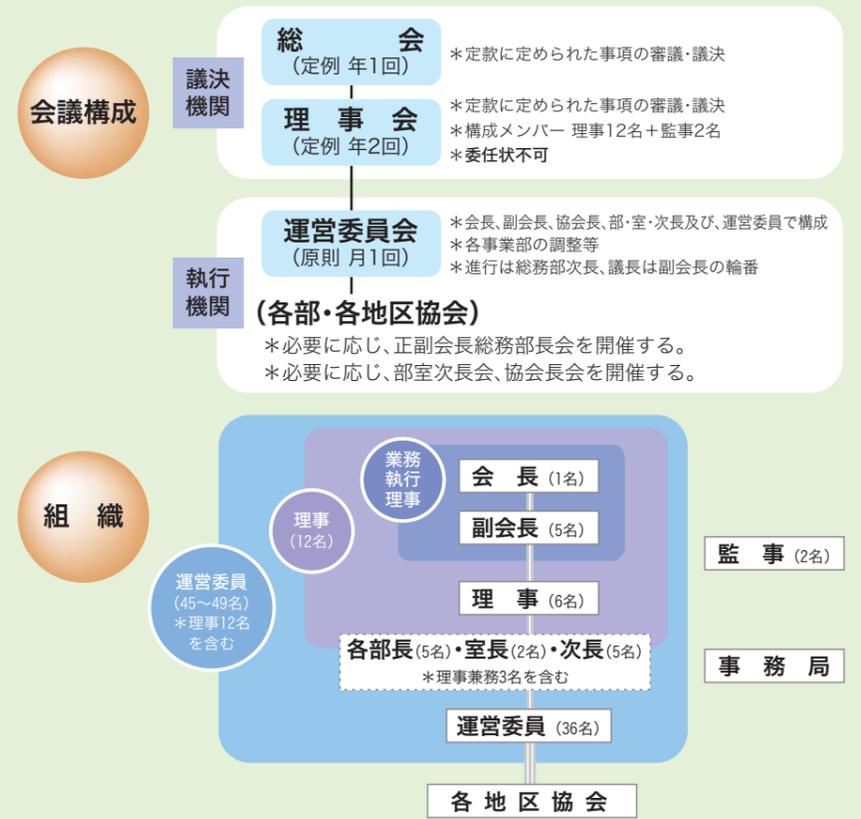
さて、私は会長職四期目の後半に入りますが、この一年、とにかく公益法人活動のはじめの一步をしつかりとした足取りをもって踏み出したと、強い気持ちをもつところです。この一年の会務運営は今までの実績と経験を生かしつつ、新しいルールに則った運営を模索せねばなりません。もちろん理事会は機能しますが、会務の中心は運営委員会が司ります。毎月開催される

運営委員の先生方には、大変なご苦勞をおかけしますが、はじめの第一歩、会務運営の基礎づくりをしつかりと構築していただけたら嬉しいところです。ところで二十七年からスタートする認定こども園の動向が気になります。前号会報神私幼（No.一八三号）でもふれましたが県当局は幼保の窓口を一本化しました。聞くところによると二十七年まではこの体制でいくとのこと、

（平成25年4月1日以降）

県連新体制について 新組織・会議構成

連合会は、平成25年4月1日より公益社団法人としてスタートしました。議決機関や執行機関、組織は、今までと同じところもあり、新しくなったところもあります。新たな公益法人定款では、議決機関は総会及び理事会とされ、総会は年1回、理事会は年2回開催されます。新たに運営委員会が、各部・地区協会とともに、連合会の執行機関として機能し、事業実施の計画、予算、執行などの検討のため毎月1回程度開催されます。会議構成で一番変わったところは常務理事会が無くなり、運営委員会が設立されたことです。運営委員会は今までの「理事会」のような運営方法を取り、メンバーも旧理事会と同じ人選方法で選出され、各事業の審議や検討を行います。理事会は今までの理事会とは全く違った組織となり、メンバーも理事が12名、監事2名の14名で構成され業務についての審議・議決を行います。総会は5月の1回開催となり、事業計画・予算と事業報告・決算を一緒に審議します。連合会の組織については、正副会長が業務執行理事となり業務を統括します。これに各協会から選出された理事6名を加えて12名で理事会を組織します。運営委員会はこの12名と各協会から選出された36名の運営委員を加えて組織されます。運営委員は45人から49人で組織され、この中には会長推薦の委員も含まれます。



連合会では二十五年年度の県当局との対応のあり方を検討し、向き合っていくべきかと考えます。

また二十五年四月、国は「子ども子育て会議」を設置し、基本方針や認可基準、保育の必要性の認定基準などの審査を開始するようです。あわせて二十五年から二十六年にかけて

て、都道府県・市町村ではニーズ調査を含めた自治体の事業計画を策定することにしています。このニーズ調査の実施は全市町村に求められており、県内においても地方版子ども・子育て会議を設置し、事業計画策定が検討されます。参議院議員選挙の結果も気になるのですが、いづれにしても二十七年から施行が想定される現在、今後の動向が気になります。なお地方

版の会議には十二協会それぞれの立場から会議メンバーを送り込み、それぞれの対応を望みます。

次に現在、全日私幼連では「幼児教育の無償化実現のために」と、署名活動と活動資金を求めた運動を展開しています。先の衆議院選挙において、自民・公明両党が政権公約に掲げている

た「幼児教育の無償化」の実現が現実味を帯びてきたとの執行部判断のもと運動展開です。実現すれば保護者負担は大幅に軽減されることになり、その裏付けとなる財源が気になります。一〇〇万人署名をめざしての活動ですので、ご理解とご協力をお願いします。ところで二十六年の予算対策の取り組みが例年よりも早くはじまりそう

就任にあたって

神奈川県県民局長 松森 繁



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会の皆様におかれましては、日ごろから本県の幼稚園教育の振興と発展にご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。

本年四月に、県民局長に就任し、私学行政に携わることとなりました。私立幼稚園をはじめとした私学の振興、次世代を担う子どもたちが健やかに育つ社会の実現に向け、皆様方のお力になれるよう微力ながら努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、神奈川県私立幼稚園連合会におかれましては、今年度から公益社団法人として、新たなスタートを切られ、幼稚園教育の一層の質の向上を図るた

め、各種研修会の開催などに取り組まれていることと思います。

特に、昨年八月に成立した「子ども・子育て関連三法」に対応して、私立幼稚園連合会内部に、新たに、子ども・子育て新制度委員会を組織するとともに、外部講師を招いての学習会の開催や、国の担当者を招いての研修会を開催するなど、精力的に取り組んでいただいていると伺っております。

県におきましても、各幼稚園の皆様が、円滑に新制度に移行することができましよう、昨年一〇月には、すべての幼稚園を対象とした研修会を開催したところですが、今後も適時・適切に情報の提供等に努めてまいります。また、この四月からは、これまで保

健福祉局にあった次世代育成課及び子ども家庭課を県民局に移管いたしました。幼稚園と保育所を所管する組織の一体化を図り、子育て支援から青少年育成までを一元化することで、より効果的な次世代育成施策の展開を図っていきたいと考えております。

このように、幼稚園を取り巻く制度が大きく変わろうとする中、幼児教育に対する保護者のニーズも多様化してきており、これまで、各地域における幼児教育の中心的な役割を担ってこられた幼稚園に対する地域の皆様からの期待はますます高まってきていることと思っております。

県といたしましては、緊急財政対策に取り組みなど非常に厳しい財政状況ではあります。平成二十五年度予算では、私立幼稚園への経常費補助金について二億七千万円増の一六億三千万円の予算を編成しました。特に、長時間の保育を希望する保護者が増えてい

る。県の財源はますます厳しさを増していると感じますが、他校種に比べて経営基盤が弱い私立幼稚園です。二十六年度に向かって引き続きの助成充実を県当局に求めつつ、関係団体と連携しながら、精力的な運動を推進していく所存です。十二協会の応援と一園一園の後押しを求めます。そして各地区活動を通じて私立幼稚園の存在感を今以上に示し、地域に根ざした私立幼稚園経営を更に考究してほしいと念じます。

その他、今期は残りの課題として「研究室」の体制づくりに着手したいと考えています。会報神私幼（No.一八〇号）をお読みください。この研究室は先輩からの引き継ぎ事項でもありますので、よろしくご理解ください。

このほかにも、安心こども基金を活用した認定こども園移行耐震化工事費補助や特別支援教育費補助などの増額も図ってまいりました。

これからも、神奈川の未来を担う子どもたちを安心して生み育てることができるよう、幼児教育の振興に努めるとともに、子ども・子育て関連三法の施行に向け、迅速かつ的確に情報を提供するなど、皆様方への支援に努めてまいりたいと考えております。私立幼稚園の皆様方におかれましては、子どもたちの健やかな成長のために、一層のお力添えを賜りますよう改めてお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

平成25年度役員名簿

Table with columns: 役職名, 氏名, 園名. Lists board members and staff across various departments like 顧問, 理事長, 副理事長, etc.

今年度の活動方針

各部長に本年度の活動方針を聞きまし。各部とも前向きに、密度濃く取り組む決意です。会員各位の英知を結集し、神奈川の幼稚園教育を前進させましょう！

総務部



総務部長 安西 透

公益社団法人に移行

四月一日より公益社団法人に移行したことを受けて、連合会の運営がスムーズに進むようにすることです。特に常任理事会が無くなり、今までの理事会が運営委員会になり、理事が年に二回しか行われなくなることなど、諸会議の運営の持ち方を整えていきたいと思。また、運営の円滑化を図るため、連合会の諸規程を整備いたします。

さらに新制度に向けて各加盟園が自園の方向を選択しやすいように、継続的かつ迅速な情報収集を行い、各加盟園の確かな情報発信が行えるようにプロジェクトと協力して検討会を進めて行こうと考えています。

平成二十五年八月二十六日(月)に神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会が開催されます。県民ホールにおいて二千五百人規模で開催される予定です。連合会各部、各協会の協力が必要な事業です。ご協力をお願いします。

振興部



振興部長 武藤 保之

子ども子育て三法 実施事業計画始まる

平成二十五年四月二十六日に子ども子育て会議が開催されました。幼保連

経営管理部



経営管理部長 山本 安雄

今年度の活動構想

今年度は就職相談会を七月六日(土)に開催します。過去二回開催し、その効果は不明ですが、ある協会の簡単な調査では、新卒教員のうち約一割が昨年度の県連の就職相談会に出席したそうです。数値的にはまだまだですが、学生にとってこの相談会への出席が当たり前のことになり、将来は各協会が養成校を回るような手間を省きたいですね。

より一層充実した 広報活動を目指して

総務部 広報室



総務部広報室長 川崎 永

昨年度は原稿依頼に快諾していただき、先生方ばかりでしたので、広報室作業としてとても助かりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。そして今年度もよろしくお願いたします。

公益法人会計による 財務管理

総務部 財務室



総務部財務室長 渡井 和佳

本年度から公益社団法人として新たな出発をすることになりました。これにとともに、実施事業及びその裏づけとなる予算は当然のことながら「不特定多数のもの利益の増進」にかかわる公益事業会計、及び法人運営にかかわる法人会計に分けて管理することになります。

財務管理上、収支科目及び予算額も公益法人認定基準に適合する内容に改めていくこととなります。収入の中でも課税対象となる項目を除外したり、

① 県連合会の方針や活動を整理し た上で重点的な内容から伝える こと。

② 県連加盟園の発展に役立つ情報 や内容を優先的にかつ分かりやすく伝えること。

③ 読みやすくかつ見やすくなるように工夫し、読み応えのある内容にしておくこと。

④ 県連主催の各事業を取材し、信頼性の高い情報を提供すること。

「今だから考えよう!」 幼稚園教育の本質を!

研修事業部・研究部が担当する大きなイベントとして昨年の関東地区教員研修神奈川大会に引き続き、今年度は五年に一度の神奈川県立幼稚園教育研究全県大会が行われます。そして、新たに今後五年間掲げていく研究テーマ「今だから考えよう!幼稚園教育の本質を!」がスタートする年で、全県大会では、このテーマ説明も行います。これから五年間、各協会でもこのテーマを踏まえながら、それぞれが取り組まれている実践を通して研究をさらに進め、深めていっていただきたいと思えます。

一方、全日の幼児教育研究機構の平成二十四・二十五年度の研究課題は「広く、深く、ていねいに保育の質を考える」保育臨床の視点を大切に研究と研究を進めよう!です。

このようにどちらのテーマにも保育の質を高めることの重要性和その願いが込められています。さらにここ数年で大きな変化があります。それは園内研修をメインとするための研修や公開保育の推進、ファシリテーター育成など座学だけに終始する研修ではなく、各園々の園内研修の質が向上することで自園の保育実践を豊かにできる力を付けようとするものに変化してきました。

つまり、これからはますます各園が、より主体的に共通の課題意識を持ち、研修研究に参加することが求められているのだと思います。

平成二十五年度も研究部では研究部員が力を合わせて県連加盟の園の保育の質の向上、保育者の資質向上のための研究研修活動を行っていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

研修事業部 活動方針

研修事業部長

岩本 勉



昨年度から研究部と研修事業部が独立して事業を展開することになりました。これからの幼稚園教育を考えると、教職員の資質向上を目的とした研修の持つ意味は、とても大きなものがあると考えています。今年度は現場の

教職員の研修・研究課題のニーズを踏まえ、年間研修計画を立案しました。

今年度は鶴見大学のご協力を得て、八月五・六日の二日間で必修領域十二時間を履修できる教員免許状更新講習会を開催します。今年度から申し込みはすべてインターネットによる受付とさせていただきます。教員免許状をお持ちの方は最初の修了確認期限をもう一度確認してください。

すでにご案内の通り、今年度も上原先生の統合保育基礎講座を五月より四回開催いたします。毎年好評で多くの先生方が受講されている研修会です。

今後の研修予定ですが、
○八景島シーパラダイス研修会
(八月二十二日)

○一〇年経験者研修会

(十月二十一日・十一月十八日、講師・お茶の水女子大学准教授 刑部育子先生)

○公開研究保育研修会

(十一月十九日・二月二〇日)

○連続研修会 園内研修

(二月十一日・一月十八日、講師・大妻女子大学教授 岡 健先生)

を予定しています。研修会のご案内は後日、各園に発送いたします。

研究部 活動方針

研究部長

亀ヶ谷 忠宏



たしますのでご確認ください。多くの先生方が県連の研修活動に参加されることを切望します。

平成二十五年度は、研究部と研修事業部の二つに分かれて二年目で、任期最後の年、継続研究もまとめの年というところで、今すべき課題を踏まえながら一つひとつの研究の内容をしっかりと深めていきたいと考えています。

今取り組むべき課題の中では、各園それぞれが自園の「園内研修力」を高めながら「保育を公開」し、自園の保育の意義を語れることが求められています。全日でも重点課題としています。

A 部会「幼児理解」でも、今年も佐藤康富先生に助言をいただきながら、実際にいくつかの園の保育を見せていただいで、そこで子どもたちが活動している様子から、子どもたちの思いは何か、一つの活動を子どもたちはどうとらえているのかを話し合っています。

B 部会「環境」でも、講師が相馬靖明先生に代わり、あなたの園の遊びがわかる!」ことを目指して、園内研修の手法も取り入れながら研究を深め

ていきます。

昨年から始まった後継者のための保育勉強会でも、質の高い保育を行っていきから私立幼稚園の保育の質も高めていこうとしています。

神奈川県連の誇る実践研究者である安部富士男先生の教育史セミナーを行います。倉橋惣三が高く評価した、橋詰良一、大正時代の教育の礎を築いた及川平治の実践と理論に触れ、それぞれの園の保育を豊かにする視点で語って頂きます。

その他、全県大会、新採研、全日や県・国の対外研究にも研究部員が協力しながらしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

祝
Pride of KANAGAWA

瑞宝双光章
受賞おめでとうございます

学校法人永井学園 ひばり幼稚園
理事長・園長
永井 宏 先生

今年も私立幼稚園界に嬉しいお知らせがありました。国が行う春の叙勲で県連の役員でもありましたひばり幼稚園の永井 宏先生が教育功労者として瑞宝双光章を受賞されました。ここに県連合会として心よりお祝い申し上げます。

「瑞宝双光章とは」
国および地方公共団体の公務または公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた人

教育相談事業の案内

事業要項

実施曜日 毎週 月曜日 14:30~16:00
火曜日 10:00~12:00
水・金曜日 10:00~12:00及び14:00~16:00
※原則、月・火曜日は「ようちえん会館」にて電話、面談による相談日とする。

形態 教育相談に係わる講演、幼稚園への出張相談、電話又は、電話予約による面談。

相談費用 無 料

相談の申込 電話にて、神奈川県立幼稚園連合会事務局へ申込みください。

相談というほどでもないのですが

本格的に新学期です。皆さん戸惑いはないでしょうか。何となくもやもやすなどが、もしありましたら、話すほどではないことを話してみませんか。話しながら自分や人がわかり、状況や世界が見えてきます。お話を伺いにも参ります。お電話でもかまいません。微力ですが、お待ちしております。

教育相談員 **鈴木 敦子 先生**
東京大学大学院教育学研究科学校教育学専攻修士・臨床発達心理士
桐朋学園大学、千葉大学、日本女子大学、東京都市大学、和光大学にて非常勤講師
早稲田、東戸山、西戸山幼稚園にて保育アドバイザーを歴

平成25年度 研修事業部・研究部活動

青字=研究部主催 緑字=研修事業部主催

1 県連主催事業

- (1) 地区別教育研究会** 5地区
県連テーマに基づいた大会の開催及び研究活動の奨励
- (2) オープン講座** 12協会
研究会の開催及び研究活動の奨励
- (3) 特別研究委員会** (2委員会) かながわようちえん会館
幼稚園教育に関する今日的課題を取り上げ、調査研究する。各部会年間8回程度開催
A.「幼児理解」佐藤 康富 先生 B.「環境」相馬 靖明 先生
- (4) 10年経験者研修会**
県私学振興課・子ども教育支援課と連携を図りながら新任教諭のための講習会の企画と実務
* 5月15日(水) かながわようちえん会館
1. 「神奈川の私立幼稚園」 渡邊 真一 県連会長
2. 「保育者の役割—新人に求められるもの—」 塩 美佐枝 先生
- (5) 新規採用教員研修会**
* 6月6日(木) 神奈川県立体育センターアリーナ
1. 「体験しようアドベンチャー教育 第1回」 白山 明秀 先生
* 6月19日(水) かながわようちえん会館
1. 「子どもの心に寄り添う保育—子どもの見方・捉え方—」 岸井 慶子 先生
* 8月5日(月) 鶴見大学
1. 「子どもの理解と保育者の援助」 平山 許江 先生
2. 講演「保育における画具・画材と色についての基礎知識」 実技「身近な物を使った造形遊び」 石井 秀卓 先生
* 8月6日(火) 鶴見大学
1. 「指導計画作成について」 佐藤 康富 先生
2. 実技研修
造形/照沼 晃子 先生
絵本/内藤 知美 先生
自然/佐藤 英文 先生
体を動かすあそび/有木 昭久 先生

- * 10月17日(水) 神奈川県立体育センターアリーナ
1. 「体験しようアドベンチャー教育 第2回」 白山 明秀 先生
- (6) 統合保育基礎講座** 上原文 先生 かながわようちえん会館
* 5月16日(木) 「配慮が必要な子どもの理解と対応」
* 6月27日(木) 「子どもの心の発達・子どもをめぐる環境」
* 9月19日(木) 「本当の家族支援とは そのI」
* 11月14日(木) 「本当の家族支援とは そのII」
- (7) 第28回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修群馬大会**
8月8日(木)・9日(金) 高崎健康福祉大学 他
教員の資質向上のための研究講座
フォーラム7
「自分(自園)の保育を開き、他者へ伝える力を高める」
提案園 小鮎幼稚園・津田山幼稚園

2 対外的事業

- (1) 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会**
7月23日(火)・24日(水) かながわ県民センター
提案園 中央幼稚園・ゆうゆうのもり幼稚園・あけの星幼稚園
- (2) 教育課程中央協議会**
12月9日(月)・10日(火) 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (3) 園長等運営管理協議会**
7月11日(木) 善行庁舎
- (4) 保育技術協議会**
8月5日(水) 総合教育センター善行庁舎
- (5) 幼稚園教育相談コーディネーター養成研修講座**
9月10日(火) 亀井野庁舎
- (6) 幼・保・小連携研修講座**
11月29日(金) ようちえん会館
提案園 梶ヶ谷幼稚園
- (7) 公・私立幼稚園合同経験者研修講座**
11月29日(金) 善行庁舎
- (8) 幼児教育実践学会**
8月23日(金)・24日(土) 福岡県

研修会報告

研究部主催

研修事業部主催

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
5/15(水)	新規採用教員研修会	かながわ ようちえん会館	神奈川県私立幼稚園連合会 会長 渡邊 眞一 先生	「神奈川の幼稚園」	149人
			聖徳大学 教授 塩 美佐枝 先生	「保育者の役割-新人に求められるもの-」	
5/15(水)	小田原オープン講座	浅野記念 御濠端幼稚園	和泉短期大学児童福祉学科 准教授 松浦 浩樹 先生	「遊びの中の学びを見つめる -子どもの充実と保育者の学び-」	80人
5/16(木)	統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・ 教育福祉研究室室長 精神保健福祉士 上原 文 先生	「配慮の必要な子どもの理解と対応」	117人
5/28(火)	教育史セミナー	かながわ ようちえん会館	県連理事・研究部員 安部幼稚園 園長 安部 富士男 先生	「橋詰 良一に学ぶ」	30人 (予定)
5/29(水)	鎌倉オープン講座	鶴岡八幡宮 直会殿	白鷗大学教育学部 教授 有馬 知江美 先生	「保育者の時間 子どもの時間」	200人 (予定)

事務局からのお知らせ

退任のご挨拶



高畑 充治

6年間！。大変お世話になりました。思えば、神奈川県内の行政職員としての長い経験を生かして、地域社会へのお手伝いのできればと、平成19年4月に子安の神之木台の県連事務局で渡邊会長、丸山総務部長とお会いしてからあつという間の6年間でした。

神奈川県を退職し、ゆっくり仕事の吟味をと考えていましたが、なかなか、教育基本法の改正、新型インフルエンザ対策、県連60周年記念式典、関東地区代表者協議会の開催、ようちえん会館取得、そして、東日本大震災に伴う支援事業の展開、関東地区教員研修神奈川大会の開催、まとめが年来の公益社団法人の認定……走馬灯のように慌ただしく駆けずりまわった感があります。

事務局も一新されました、大田女史などベテランから、若く今様のしやしやしきお嬢！に支えられ、今日を迎えられましたこと、感謝にたえせません。言わずもながら、大過なく県連業務を遂行できたことは、偏に歴代の副会長、各部・次長さん、各地区協会長、理事役員の諸先生のご薫陶、ご指導に改めて感謝申し上げます。

退任し、「余生を孫と」と思っておりましたが、渡邊会長のご深慮を賜り、初音丘学園のお手伝いをさせていただくこととなりました。これからも幼児教育の一端を担ってまいります。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

就任のご挨拶



西山 利幸

本年4月から連合会の事務局長に着任しました西山と申します。元職は国税事務所に勤務しておりました。平成12年から15年5月まで私学宗教課(当時)に在籍の経験があります。

その時にお世話になった先生方にお会いして心強く思っております。事務局の仕事に取り組みたいと思います。皆様のご教示ご鞭撻をお願い申し上げます。



法律相談事業のご案内

幼稚園経営管理の環境は時代社会を反映し、複雑多岐にわたり、法的判断をしなければならぬ状況に迫られる案件に対し、迅速に専門的法律相談ができるよう、県連として法律相談を次のとおり実施しておりますので、お悩みの際にはご相談・利用をお願いします。

1. 無償の相談業務

- ・幼稚園の経営、施設管理、労務管理等に関する口頭による法律相談
- ・幼稚園運営に関する諸規則、約款等を作成する上での指導・助言
- ・一般的な法律問題、法律文書に対する口頭での指導・助言
- ・一般的な法律情報の提供

2. 相談内容により有償となる業務

- ・幼稚園に発生した訴訟事件の受任
- ・交渉事件その他法律問題の処理・解決のために一定の手続きを要する事件又は継続した業務の遂行が求められる事件の受任
- ・幼稚園が必要とする契約書等の書面作成
- ・書面による回答、特殊かつその検討に相当程度の時間を要する事案についての回答、書面の作成を要する助言等
- ・幼稚園長及び教職員に対する法律講演

3. 県連 法律顧問契約事務所

横浜総合法律事務所
横浜市中区住吉町1-2 (スカーフ会館内)
TEL 045-671-9654(専用) 045-671-9521(代表)
県連担当窓口 西村 将樹 弁護士
(西村弁護士がいない場合、横浜総合法律事務所の弁護士が対応します)

4. 相談の際には、県連加盟と幼稚園名をお伝えください

第53回 神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会



とき 平成25年8月26日(月)

ところ 神奈川県民ホール

編集後記

From the Public Relations Section

先日国民栄誉賞の授与式があり、長嶋さんと松井さんが受賞されていました。私などは長嶋さんへは『まだあげていなかったの?』と思いましたが、機会に恵まれなかったのです。

そんな中、安倍首相は粋な事をしたと拍手したくなりました。日々、先生方は教育に尽力を注がれていらっしゃると思います。黄金のバットは貰えないかもしれませんが、信念に従い教育を続けていけば、何物にも代え難いご褒美があるのではないのでしょうか?

地道な毎日でも、未来を背負う子どものため、頑張りましょう!!

広報室 熊坂昌志